

「『やりたい』実現の場」

とかち財団 創業拠点「LAND」開所

とかち財団（長澤秀行理 などで祝った。

事務やイベントなどの「やりたい」を実現するための拠点。広さ約215平方メートル、土間やカフェ、会議室が設けられている。セレモニーで長澤理事長は「利用者がやりたいこと

とかち財団（長澤秀行理 などが祝った。事務やイベントなどの「やりたい」を実現するための拠点。広さ約215平方メートル、土間やカフェ、会議室が設けられている。セレモニーで長澤理事長は「利用者がやりたいこと



トークイベントも開かれ、初日から多くの利用者でにぎわったLAND（4日午前10時半ごろ、新井拓海撮影）

を実現し、地域づくりや地方創生につながることを期待している」とあいさつ。長澤理事長と米沢則寿帯広市長、アルプス技研（神奈川）創業者の松井利夫最高顧問がテープカットした。

オープニングイベントとして、松井氏が十勝に懸ける思いについてトークショー。「十勝は起業するには最高の場所」と紹介し、「住民の不平・不満があるところにビジネスチャンスはある」と話した。十勝の新進企業による事業プレゼンや、帯広畜産大学の学生によるトークもあった。

LANDの利用時間は午前10時～午後8時（土曜は午後7時まで）。日曜・祝日定休。施設利用などの問い合わせはLAND（0155・67・7895）へ。

（川野遼介）